

つながり合う世界ー気候変動と子どもたちー

紛争の影響で世界中の食料不足・栄養不良が深刻に

気候変動が今、世界中でさまざまな災害や環境の変化を引き起こしています。被害をもっとも深刻な形で受けるのは、災害に備えたり、被害から回復したりする力の弱い国や地域に暮らす子どもたちです。気候変動による環境の変化は、紛争、食料不足などと重なって、子どもたちの「健やかに成長する権利」をおびやかしています。

2022年2月に始まったウクライナ紛争の問題はウクライナとロシアの2カ国の間にとどまりません。

ウクライナとロシアが生産していた食料が世界中にいきたらなくなり、それを必要としている人々の暮らしに影響が出ています。

新型コロナウイルスによる影響も重なり、食料の90%以上を輸入にたよる中東・北アフリカ地域では、十分な食事がとれず、栄養不良になってしまう子どもたちの問題が特に深刻になっています。そして、この問題はさらに世界へと広がっています。



© UNICEF/UN0597997/Skyba for The Globe and Mail
健康診断を受ける1歳のイシャクちゃん(シリア)



© UNICEF/UN0641537/
2022年5月/バングラデシュ北東部の洪水の被害で、いつもの道が水びだしに

シリア		子どもの75%が健康に成長するために必要な食事をとれない。国民の90%が貧困下に暮らしている。
レバノン		子どもの94%が必要な食事をとれない。
スーダン		子どもの36.4%が発育阻害。
イエメン		子どもの45%が発育阻害。

※発育阻害: いつも十分な栄養が取れずに、年齢にあった身長まで成長しない状態。脳の発達にも深刻な影響をおよぼします。 出典: 日本ユニセフ協会 ユニセフ学校通信

CONTENTS

- 1 つながり合う世界
- 2~3 ウクライナ緊急募金プロジェクト
- 4 ユニセフのつどい2022
- 5 Welcome UNICEF 知ることから始めよう
- 6 役員紹介
- 7 役員からのメッセージ
- 8 ユニセフ国際理解講座
- 9 ユニセフ出前授業
- 10 ユニセフ・ラブウォーク IN あけぼの山
- 11 活動ファイル
- 12 ご協力ありがとうございました

INFORMATION

千葉県ユニセフ協会

月～金 10時～16時(祝祭日休み)

〒264-0029 千葉市若葉区桜木北2-26-30

コープみらい 千葉エリア桜木事務所 本館

TEL: 043-226-3171

FAX: 043-226-3172

Eメール: info@unicef-chiba.jp

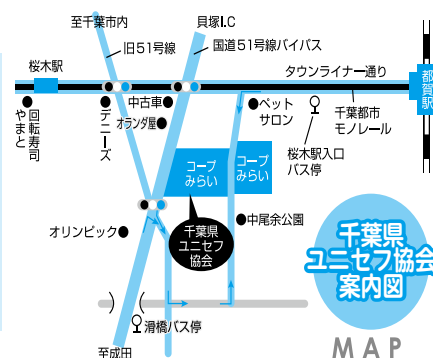
ホームページ: www.unicef-chiba.jp



↑ホームページへリンクします

ACCESS

- ★JR都賀駅東口下車 徒歩約15分
- ★モノレール桜木駅下車 徒歩約5分



MAP

千葉市若葉区桜木北2丁目26番30号
コープみらい 千葉エリア桜木事務所 本館

16 平和と公正を
すべての人に



～ウクライナの子もたちの命と尊厳を守るために～ウクライナ緊急募金プロジェクト できることから始めよう!千葉県内にひろがる活動の輪

3月4日より展開している「千葉県ユニセフ協会 ウクライナ緊急募金プロジェクト」では、講演会やユニセフ・ラブウォーク、パネル展やオンライン募金などを通じて、戦闘により平穏な日常が奪われ、不安な毎日を過ごす中で心身ともに影響を受けているウクライナの子もたちへの支援を呼びかけており、多くのみなさまに参加・協力をいただいています。また、学校・団体・企業などでは、音楽・芸術などの文化交流や国際理解の場づくりなどの活動で、ウクライナ緊急募金にご協力をいただきました。

みなさまの温かいご支援に心より感謝申し上げます。

学校・団体・企業での取り組み

(公財)君津市文化振興財団

君津市民文化ホールで開催された『ウクライナ人道支援特別上映会 映画「ひまわり 50周年HDレストア版」上映会』(7月8日)と『キエフ・クラシック・バレエ「白鳥の湖」公演』(9月18日)で募金を呼びかけてくださいました。



左:映画「ひまわり」上映会では千葉県ユニセフ協会作成のパネル「ウクライナの子もたちの今は」が展示されました
右:浦副館長が事務局に募金を届けてくださいました

石井食品株式会社

株主優待の贈呈品のかわりとして、ユニセフを支援先とした「ウクライナ復興支援」を設定。株主のみならず募金協力をいただきました。



石井食品HPより

八千代市ウクライナ支援事業実行委員会

八千代市ではウクライナ支援事業として『映画「ひまわり」上映会』(4月23日)『ウクライナ支援コンサート』(5月22日)を開催。その収益全額を市内に避難しているウクライナの方およびユニセフ等の

団体に寄付されました。8月26日に八千代市役所を訪問し、八千代市ウクライナ支援事業実行委員会さまに日本ユニセフ協会から感謝状をお渡しする「感謝状授与式」を行いました。

授与式には、同実行委員会の名誉会長 服部友則様(八千代市長)、会長 上代修二様(八千代商工会議所会頭)や、支援コンサートを行った八千代少年少女合唱団の方にお越しいただき、福本事務局長より日本ユニセフ協会からの感謝状および募金領収証をお渡ししました。



日本ユニセフ協会の感謝状を服部友則 名誉会長(八千代市長)にお渡ししました



福本事務局長よりご協力のお礼とユニセフの支援についてお話ししました



実行委員会とコンサートに出演した八千代少年少女合唱団のみなさまと

敬愛大学高田ゼミ



写真左:バザーに参加された高田ゼミのみなさま
写真右:平和へのおもいが込められた手作りの品々

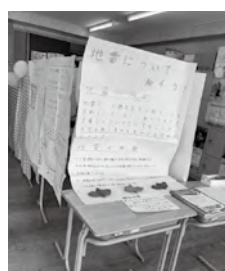
バザーを開催
売り上げを募金に



昭和学院秀英中学・高等学校ボランティア同好会



生徒代表3名が募金を届けてくださいました



手作りの蝶型地雷模型で地雷の恐ろしさを伝える

校内展示で
募金を呼びかけ



千葉県ユニセフ協会の活動

ウクライナ緊急支援チャリティーコンサート 日時:9月10日(土) ふれあいプラザさかえ 3階音楽室

主催:(一社)栄町シルバー人材センター 共催:千葉県ユニセフ協会 協力:ガールスカウト千葉県第91団 募金額:76,893円

栄町シルバー人材センターに声かけいただき、共催でチャリティーコンサートを開催しました。金管アンサンブルTBQのみなさん、小田嶋幸次さんと栄町みもぞハーモニカソサエティーの皆さんによるハーモニカ演奏を楽しみました。また、会場内ではユニセフの活動を紹介するパネルや地雷のレプリカを展示、ウクライナの子どもたちへの支援を呼びかけました。



栄町シルバー人材センター
中川会長のご挨拶



金管アンサンブルTBQの
みなさん



小田嶋幸次さんと栄町みもぞ
ハーモニカソサエティーのみなさん



ガールスカウトのみなさん
協力してくれました



ユニセフのパネルや
支援品などを展示しました

映画「ひまわり」テレビ上映

7月30日(土)19時~21時 チバテレ3ch

4月に栄町、成田市、千葉市で上映した映画「ひまわり」を千葉テレビで放映し、ウクライナ緊急募金への協力を呼びかけました。



映画「ひまわり」平和への思いを込めてプロジェクト！...

2月24日に起きたウクライナへの侵襲から3か月が経過しました。ウクライナでは、多くの子...

千葉テレビ様にはタイムテーブル7月号や、CM、SNSなどで告知にご協力いただきました

オンライン募金「フレンドネーション」

第2弾 3月30日~7月31日
募金額180,871円(41名)
第3弾 6月1日~8月31日
募金額 108,309円(33名)

第4弾

9月2日~12月31日
募金額 64,993円(14名)

※11月25日時点

オンライン募金第2弾、第3弾はそれぞれ目標額を達成しました。

12月31日までオンライン募金を受け付けています。
ご協力をお願いします!(目標額 100,000円)

ウクライナ侵襲から半年が経過...紛争が終わることを祈る!ウクライナ緊急募金第4弾



プロジェクト概要
ロシアのウクライナ侵襲から半年が経過しました。この戦争がいつまで続くのか、あるいはいつか終わるのか、誰も分かりません。ウクライナに暮らす子どもたちは、毎日恐怖と不安の中で生活しています。ユニセフはウクライナに暮らす子どもたちを支援するために、募金を呼びかけています。募金したお金は、ウクライナに暮らす子どもたちのために使われます。募金したお金は、ウクライナに暮らす子どもたちのために使われます。募金したお金は、ウクライナに暮らす子どもたちのために使われます。



コメント (0)

オンライン募金のお申込みはこちら↓



みなさまのご支援で ~子どもたちと家族を守る ウクライナ国内でのユニセフの活動~

10月に日本ユニセフ協会が発表した「ウクライナ危機6カ月報告書」によると、24カ国以上の企業・支援団体・財団・個人から募金が寄せられ、すでに現地に送金されたご寄付総額は、6億1,790万米ドルにのぼります。ユニセフはみなさまのご協力によりウクライナと難民受け入れ国13カ国で支援を続けています。

スピルノ・チャイルドスポット/スピルノ・プログラム支援 ※スピルノ=ウクライナ語で「共に」の意味

「スピルノ・チャイルドスポット」は、子どもにやさしい空間として、ウクライナ国内の戦場で大きな被害を受けた地域や主要都市、国内避難民の避難所などに設置しています。

(2022年3月、ユニセフとウクライナ社会政策省の共同で屋内外150カ所、移動式70を設置)

近隣諸国に設置されている「ブルドット」と同様、障がいのある子どもを含め、すべての人が利用できるよう設計、メンタルヘルスや心理社会的支援、学習の機会の提供、応急処置や保健サービスの紹介などさまざまな支援を行っています。



©UNICEF/UN0678103/Filippov
激化したザポリージャの戦闘から家族と逃れ、リヴィウの仮設住居で暮らすヴィラさん。(ウクライナ、2022年6月撮影)

また、ウクライナ社会政策省と連携して全国的な社会保護制度を支援する「スピルノ・プログラム」を策定、現金給付による支援を行っています。このプログラムは、ウクライナ全土で3人以上の子どもがいる家庭と、少なくとも1人の障がいのある子どもを育てる家庭を優先、これまでに1億2,500万米ドルを給付し、12万世帯に暮らす35万人の子どもたち(3万5,000人の障がいのある子どもを含む)を支援しています。

ユニセフの活動状況を紹介した「ウクライナ危機6カ月報告書」は日本ユニセフ協会ホームページでご覧いただけます。

日本ユニセフ協会「ウクライナ危機6カ月報告書」にリンクします→



©UNICEF/UN0695364/Filippov
リヴィウの病院の中にある「スピルノ・チャイルドスポット」で、塗り絵をするエヴァ(9歳)

ユニセフのつどい2022

「マシンガンズ滝沢さんと考えよう! SDGsと環境問題」



マシンガンズ・滝沢秀一さん

日 時：2022年7月23日(土)14:00～16:00 会場：千葉県教育会館大ホール
 講 師：滝沢秀一氏(お笑いコンビマシンガンズ)
 取組み紹介：佐々木久之氏(鴨川松島再生プロジェクト協議会)
 田口博雅氏(ボーイスカウト船橋第3団)
 参 加 者：137名(一般参加83名、市原中央高校インターアクト部 9名/昭和学院秀英中学・
 高校ボランティア同好会 9名/千葉県ユニセフ協会理事・評議員20名/ユニセ
 フスタッフ16名)
 募 金 額：40,289円(ウクライナ緊急募金)

今年の「ユニセフのつどい2022」は、「ゴミ・環境問題」をテーマに、3年ぶりとなる会場開催となりました。

お笑いコンビマシンガンズの滝沢秀一さんの講演は、コンビ名通りの「マシンガントーク」で、ゴミ収集業務での体験談や課題、私たちがすぐに取り組みそうなことを楽しく、わかりやすくお話してくださいました。多くの気づきがありましたが、「3R(リユース・リデュース・リサイクル)に”リスペクト”

を加えた4Rを実践していきたい」という言葉は特に大切にしていきたいと思いました。

また、福本事務局長とのトークセッションで、「周りの人にゴミ削減や分別について浸透させるコツは?」という質問に滝沢さんは「同じことを、同じ熱量で言い続けること」とおっしゃっていました。

取組み紹介では、千葉県ユニセフ協会も活動をご一緒した鴨川松島再生に取り組む佐々木久之さんと、地域の環境問題をボーイスカウト活動に取り入れている田口博雅さんに、日ごろの活動についてお話をいただきました。

講演や事例紹介で得たヒントをもとに、ゴミを出さない/減らすこと。そして環境を守っていくためにできることをさっそく実践していきたいと思います。



佐々木久之さん



田口博雅さん



麻生副会長による開会挨拶



司会進行



受付・会場案内



地雷の説明

市原中央高校インターアクト部と
 昭和学院秀英中学・高校ボランティア同好会の
 先生・生徒さん計18名が
 ボランティアとして参加しました。



アンケート回収



募金呼びかけ



花束贈呈

ユニセフのつどい2022に参加させていただき、今回開かれた、マシンガンズ滝沢さんのごみ問題についての講演会を聴きました。マシンガンズ滝沢さんは、お笑い芸人の傍ら、ゴミ収集の仕事と並行しておられ、そのゴミ収集の仕事から見た、ゴミの世界についてお話されました。普段私達の周りで途絶えることなく発生するゴミ、そんなゴミについて、私は関心を持つことがあまりありませんでした。そのようななか、今回、滝沢さんのお話を聞き、ゴミについての新しい見方や、今日本で発生しているゴミはどんな状況なのかについて、楽しみながら理解を深めることができました。特に3Rに、リスペクトという、もう一つのRを付け加えた4Rについてのお話は、私に新たなゴミへの考え方をもたらしてくれました。この講演会をきっかけに、4Rを心がけながら、ゴミ問題を改善する一歩となるような行動を心がけたいです。

今回の講演会はとても貴重な体験となりました。

市原中央高校 インターアクト部 片岡榮愛

7月のユニセフのつどいに、8人がボランティアとして参加させて頂きました。このような機会を頂きましたことに部員一同感謝しております。部長は、「講演会のスタッフ側の手伝いは初めて経験したので分からないことも多かったけど、他のボランティアの方やスタッフの方と協力してできたから良かったです。一番心に響いた言葉は『3R+Respect』です。商品を作ってくれる人だけではなく、自分たちが出したゴミを回収してくれる人にも感謝し、処理しやすく捨てるのが僕たちにもできることの第一歩だと思います。」と。また地雷のブースを担当した部員は「今回、一番印象的だったのは地雷の話です。蝶型地雷のように命を奪うのではなく、心に深い傷を一生負わせて戦闘意識を減らすこともあると知り、地雷の残酷さを改めて知ることができました。」と感想を持ち、この経験を9月に実施された文化祭にて展示をすることができました。ありがとうございました。

昭和学院秀英中学校高等学校 ボランティア同好会
 顧問 秋葉亜紀

会場内でお預かりした募金40,289円は、全額をウクライナ緊急募金といたしました。

また、使用済み切手や外国コイン募金もたくさん集まりました。

ご協力ありがとうございました。



Welcome UNICEF 知ることから始めよう

「守られているの?子どもの権利～誰一人取り残さない社会へ～」

日 時：2022年10月1日(土) 13:30～15:30

会 場：千葉県教育会館 大ホール

講 師：藪本雅子氏

参加者：71名(一般参加 29名／千葉県ユニセフ協会理事・評議員 17名／市原中央高校
インターアクト部4名／昭和学院秀英中学・高校ボランティア同好会 6名／ユニセフ
スタッフ 15名)

募金額：19,829円(ウクライナ緊急募金)



藪本雅子さん

藪本雅子さんは日本テレビに入社され、アナウンサー、社会部、政治部記者を経てフリーとなり、人権問題を大学院で勉強され、取材・執筆活動を長く続けられています。

藪本さんは、らい予防法が廃止された1996年にハンセン病患者を取材され、悲惨な療養所での生活や差別の実態を知ったことが、ハンセン病と関わるきっかけとなりました。

記者になったのちの2001年、らい予防法の違憲判決が出た時、ハンセン病を取り上げ、既に特効薬が開発され、後遺症もなく治癒する病気だったにも関わらず、患者は外見から療養所に残ざるを得なかったこと、らい予防法が施行された当時、患者を罪人の様に強制的に療養所に入所させられていたことを報道されました。



講演に先立って、首藤専務理事よりご挨拶



トークセッションでの藪本さんと大久保理事

ハンセン病患者への差別は現在でも根深く残っており、その根底には仏教の思想(前世の行いが悪い、ケガレ思想)や優生思想(相手を対等に見ず、劣っているとする)があると話されました。さらに、古くからの女性蔑視やLGBT差別も全く同じで、上から目線の差別があると指摘されています。

藪本さんがハンセン病や人権問題に関心を持った理由は、中学生の時に受けた性被害にあると告白されました。当時受けた心の傷が長年に渡り、藪本さんを苦しめたとのこと。性暴力は成長過程で培われなければならない子どもの安心感、倫理観を壊してしまいます。藪本さんは未成年者を性暴力から守る活動も続け、青少年を性暴力から守る刑法の改正を訴え、また、早期に性教育を行うことを提唱されています。

性暴力の根底は女性や子どもを対等に見ていないからで、ユニセフの子どもの権

利条約の4原則と照らしても子どもを性暴力から守ることは全て当てはまります。

講演後のトークセッションでは事前に頂いた『私たちに出来ることは?』との質問に「**許せないと思ったことは見過ごさないこと。そして、勉強し、いろいろな人の話を聞き、知恵を絞って新しい解決策を考えていくことが大切**」と答えられました。

差別は自分がやっていなくとも見過ごすことは差別側になることを忘れてはいけなと話を結ばれました。

今回、司会をされた千葉県ユニセフ協会 大久保理事が“**藪本さんの魂の叫び**”と形容されました。最後に千葉県ユニセフ協会から「子どもの権利条約」の重要性についてお話し、参加者より「人権を改めて考えさせられました」、「感動した」等のコメントを頂きました。



読売新聞10/4朝刊に掲載されました



市原中央高校 インターアクト部



昭和学院秀英中学・高校 ボランティア同好会



講演後に開かれた役員顔合わせ会では、今回の講演や今回の開催テーマについてなどご意見を頂いた

千葉県ユニセフ協会 役員紹介

敬称略・50音順にしております(2022年10月31日現在)

県協会役職	お 名 前	役 職 名
顧 問	熊谷 俊人	千葉県知事
顧 問	神谷 俊一	千葉市長
会 長	中山 俊憲	国立大学法人千葉大学学長
副 会 長	麻生 博章	株式会社千葉銀行常務執行役員
専 務 理 事	首藤英里子	生活協同組合コープみらい常務執行役員千葉県本部長
常 務 理 事	伊藤 稔	(公財)ちば国際コンベンションビューロー代表理事
常 務 理 事	黒坂 典雄	千葉県青少年団体連絡協議会会長
常 務 理 事	鈴木 國夫	(公財)日本ユニセフ協会顧問
理 事	入江 康文	(公社)千葉県医師会会長
理 事	大久保利宏	敬愛大学経済学部特任教授
理 事	大澤克之助	株式会社千葉日報社代表取締役社長
理 事	片平 紀行	日本ボーイスカウト千葉県連盟理事長
理 事	佐久間英利	(一社)千葉県商工会議所連合会会長
理 事	佐々木博子	生活協同組合パルシステム千葉理事長
理 事	柴田加寿子	(一社)ガールスカウト千葉県連盟連盟長
理 事	染谷 光男	キッコーマン株式会社特別顧問
理 事	田村明比古	成田国際空港株式会社代表取締役社長
理 事	林 幸子	生活協同組合コープみらい理事
理 事	林 茂壽	千葉県農業協同組合中央会代表理事会長
理 事	吉田 謙次	株式会社オリエンタルランド代表取締役社長
監 事	熊谷 俊行	株式会社千葉銀行取締役頭取
監 事	篠崎 純	千葉県弁護士会会長

県協会役職	お 名 前	役 職 名
評 議 員	青柳 洋治	千葉テレビ放送株式会社代表取締役社長
評 議 員	安藤 淳	東京新聞千葉支局長
評 議 員	石井 智康	石井食品株式会社代表取締役社長
評 議 員	小布施祐一	読売新聞千葉支局長
評 議 員	神永 幸宗	中山身語正宗関東別院誓照寺副院主
評 議 員	上山 精一	千葉県生活協同組合連合会専務理事
評 議 員	河合 克美	株式会社千葉ロッテマリーンズオーナー代行兼代表取締役社長
評 議 員	坂本 雅信	千葉県漁業協同組合連合会代表理事会長
評 議 員	櫻井比呂樹	千葉県中学校長会会長
評 議 員	佐々木 健	朝日新聞社千葉総局長
評 議 員	篠木 賢正	千葉県高等学校長協会会長
評 議 員	玉田 浩一	株式会社バリエーション代表取締役専務
評 議 員	徳永 澄憲	麗澤大学学長
評 議 員	永富 博之	日本労働組合総連合会千葉県連合会会長
評 議 員	名雪 雅美	農事組合法人郷園総務部長
評 議 員	長谷川 豊	毎日新聞社千葉支局長
評 議 員	浜口 好博	イオンテール株式会社取締役常務執行役員南関東カンパニー支社長
評 議 員	林 昇志	株式会社グリーンタワー社主
評 議 員	細田美和子	日本放送協会千葉放送局局長
評 議 員	前田 伸	株式会社マザー牧場代表取締役社長
評 議 員	水越 雅信	DIC株式会社常勤顧問DIC川村記念美術館館長
評 議 員	美濃地 誠	株式会社ホテルオークラ東京ベイ代表取締役社長総支配人
評 議 員	森本 航	ジェフユナイテッド株式会社代表取締役
評 議 員	谷沢 健一	NPO法人谷沢野球コミュニティ柏理事長
評 議 員	山下秋一郎	千葉県小学校長会会長
評 議 員	吉田 和子	(公財)吉田記念テニス研修センター評議員
事務局長	福本 朋子	千葉県ユニセフ協会事務局

9/25(日) ジェフユナイテッド市原・千葉のホームゲームに参加しました

快晴の日曜日、フクダ電子アリーナで行われたジェフユナイテッド市原・千葉とロアッソ熊本とのJ2リーグゲーム開催時にユニセフの募金活動を実施しました。ジェフユナイテッド(株)様とはこれまで親子サッカー教室と募金活動を行ってききましたが、コロナ禍に見舞われた2年の間、実施することができませんでした。



久しぶりの募金活動ですが、声出しをしての募金呼びかけができず、募金していただけるかとても心配でした。募金していただいた方に、ユニセフのSDGsシールやSDGsしおりなどを配布、またジェフユナイテッド市原・千葉の篠原友哉選手と佐久間太一選手も募金活動にご協力いただいたこともあり、多くの方々にご協力いただきました。みなさまから頂いた募金61,186円は日本ユニセフ協会に送金致しました。ご協力ありがとうございました。



役員からのメッセージ



千葉県生活協同組合連合会
専務理事 **上山 精一**

ロシアのウクライナ侵攻は未だ終結の見通しも立たず、多くの尊い命が犠牲になっています。そのようなウクライナから日本に避難する人達も増え、千葉でも大勢の方が生活を始めています。

千葉県生協連では、千葉で暮らすウクライナの皆さんの居場所づくり、茶話会『お茶しませんか』プロジェクトを千葉県ユニセフ協会、社会福祉協議会や企業、行政などとスタートしました。会場では、お母さんたちの母国語での楽しそうなおしゃべりや子どもたちの屈託のない笑顔が広がり、ひとときだけでも心が休まる場所になっているようです。

笑顔をどこかに忘れた子どもたちが世界中に大勢います。貧困、格差や差別、戦争が無くなり、誰もが笑顔で暮らせる世界にするために、ひとり1人の一歩が大切だと思います。すべての子どもが夢や希望がもてる社会となるよう、皆様とともにユニセフ活動に取り組んで参ります。よろしくお願いいたします。



毎日新聞社千葉支局
支局長 **長谷川 豊**

ロシアによるウクライナ侵攻で多くの人が殺されています。シリアやイエメンでも悲惨な内戦が続き、戦争を止められない世界に無力さを感じます。子どもたちや女性など弱い立場にある人々を支援するユニセフの活動はますます重要になっています。

戦争だけでなく、地球温暖化など気候変動でも犠牲になるのは子どもたちです。私は2009年、日本ユニセフ協会の大使を務めるアグネス・チャンさんの西アフリカの最貧国ブルキナファソ訪問に同行取材した経験があります。サハラ砂漠の南に位置するこの国では雨が降らなくなってヒエなどの農作物が作れなくなり、子どもたちが家計を助けようと学校に行かずに40度を超す炎天下の金鉱で働いていました。その姿は忘れられません。

毎日新聞社は環境分野で初のノーベル平和賞を受賞したケニア人女性、ワンガリ・マータイさんが2005年に提唱した「MOTTAINAI」を合言葉に持続可能な世界を目指すキャンペーンに賛同し、マータイさんが亡くなった後も遺志を引き継いでいます。

昨年4月に千葉に赴任しました。評議員としてユニセフの活動に携われることに重責を感じるとともに、より良い世界を次の世代に渡すために皆さんとチャレンジできれば幸いに存じます。



ジェフユナイテッド(株)
代表取締役 **森本 航**

千葉県ユニセフ協会評議員の森本(ジェフユナイテッド株式会社)です。日頃からジェフユナイテッドへの応援、ありがとうございます。私たちはサッカーを通じて感動や感激を提供するだけでなく地域の課題解決のために様々な方々と連携しております。

その中の活動の一つとしてフードバンク様と連携してサポーターの皆様からいただいた食材を生活困窮世帯に対して提供する活動をしております。日本では年間2500万トンの食材が廃棄されていますがそのうちの500~600万トンはまだ食べることができるのに捨てられている食材といわれています。

日本の生活困窮世帯は先進国35か国のうち7番目に高く経済的な格差が社会問題にもなっています。生活困窮はいつ、だれであっても陥る可能性があるリスクです。だからこそ社会全体でセーフティネットを構築することが必要であります。私たちが1回の活動で集める食材は100KGにも満たない規模です。しかし大事なことは最初の第一歩を踏み出すことです。なぜならばユニセフの活動はこういった小さな一歩一歩の積み重ねで成り立っているからです。まずは身近な小さな一歩から皆さまと一緒に取り組んで参りたいと思います。

8

—ユニセフ出前授業(オンライン授業も行っています)—

千葉県ユニセフ協会では、困難な状況の中で生活している世界の子どもの現状や、ユニセフの取り組みについてなど県内の幅広い方々に向けて出前授業を行っています。ユニセフについてはもちろん、国際理解を深めるきっかけとして、ぜひご活用ください。

出前授業テーマの一例

- 世界の子どもの現状とユニセフの活動を知る
- SDGs「持続可能な開発目標」について理解を深める
- 子どもの権利条約について学び、人権について考える
- ひとりひとりができること・・・ボランティア体験
(使用済み切手切り、外国コイン仕分け)

出前授業の実施先例

- 幼稚園、小学校、中学校、高校、大学
- ボーイスカウト、ガールスカウト、子供会などの子どもが参加する団体
- サークル活動や自治会などの大人が参加する団体
- 自治体・企業・団体等が行う研修 など

〈事例紹介〉

成田市生涯大学院

毎年、成田市生涯大学院から依頼を受け出前授業を行っています。成田市生涯大学院での授業プログラムの紹介と、参加してくださった方2名の方からの感想を紹介いたします。

プログラム

- 10:00 ~ 10:15 あいさつ
世界の現状について(ウクライナ)
- 10:15 ~ 10:30 DVD「ユニセフと地球のともだち」
- 10:30 ~ 10:45 「水」の話
- 10:45 ~ 11:00 地雷の話
- 11:00 ~ 11:10 休憩
- 11:10 ~ 11:50 ワークショップ 地球の食卓
- 11:50 ~ 12:00 まとめ ボランティア活動について

ワークショップ「地球の食卓」 取り組むみなさん



感想を
寄せていただきました



「ユニセフ」について

Unicef(ユニセフ)と云う呼び名を何年振りに耳にしたらどうか?と改めて思う程、私個人としては、遠い存在に思える団体の名前である。ご存じの方も多いと思いますが、ユニセフとは「国際連合児童基金」の略称で、世界中の子ども達の「命」と「健康」と「未来」を守る為に活動している「国連」の機関の(一 ひとつ)である。「ユニセフ」は、第二次世界大戦後の1946年に国連の総会で作られた機関である。その目的は戦争で被害を受けた子ども達を助ける為であり、戦争敗北国「日本」の子ども達も、1949年以降、支援活動を受け、粉ミルクの支給等、大いに助けられたことである。その後、1953年に「国際連合児童基金」と名を改め、開発途上国の子ども達の長期的な支援に広がっている。日本では、1955年に財団法人「日本ユニセフ協会」が作られた。その後、1964年に日本への支援活動が終りを告げられた。以後、1965年ノーベル平和賞受賞、1990年「子どものための世界サミット」が開かれた。2002年「国連子ども特別総会」が開かれる。2011年、公益財団法人「日本ユニセフ協会」となる。2021年「ユニセフ」創設75周年を迎えた。日本は「ユニセフ」から給食用の粉ミルクや、洋服用の綿、葉、等々の支援を1964年(東京オリンピックの年)まで約15年間、当時のお金で65億円にも上る支援を受けている。また東日本大震災では、ユニセフの支援を受け、日本ユニセフ協会が支援活動を行った。今後も同協会の活動に注目し、私達も何らかの応援をしていきたいものである。



3年1組のみなさん

ユニセフ感想文

ユニセフは聞いていましたが、中身は初めてです。日本大百科全書で改めると、国連児童基金 UNICEF、世界の子どもの生命と健やかな成長を守るために活動している国連機関。設立は1946年12月11日(私より2年前)。活動は何百万人に及び途上国の児童の栄養不足・病気・低識字率から長期的児童養護計画への援助を行っております。活動資金の3分の2は各国政府からの自発的贈金(きょきん)で、残りは民間の寄付、とユニセフ・カードの売り上げなどである。本部はニューヨークで190以上の国と地域に援助している。特に紛争地域への援助が多い。

地球の食卓講座では、ブータンの人々が皆笑顔で写っており、物やお金では買うことが出来ない、心豊かな暮らしがあると我々に教えているようでした。環境や生活が厳しくても心は豊かである。24カ国の統計一覧で、先進諸国が高い数値を示している項目は、15歳以上の識字率・平均所得・医療費・糖尿病人口・肥満人口など、なるほどと思います。しかしブータンの笑顔が対照的です。本日よりユニセフを意識するようになりました。



3年2組のみなさん

7月10日(日) ユニセフ・ラブウォーク IN あけぼの山 開催



参加者 大人47名 子ども18名 計65名
参加費として27,100円 募金箱 12,581円
計 39,681円をウクライナ緊急募金といたしました。

柏市では初めてのユニセフ・ラブウォーク。大きな空が広がるあけぼの山農業公園で開催しました。あけぼの山農業公園は季節ごとに、パンジー、チューリップ、ポピー、ひまわり、コスモスと公園には、いろとりどりの季節の花が広がります。

ウクライナの支援となるラブウォークを、ウクライナの国花であるひまわりを見ながら歩けばと思いましたが、残念ながらひまわりの開花には一週間早かったようです。それでも、参加者は元気いっぱい、あけぼの山からさくら山、一茶の句碑、日本庭園をぐるっとまわった後、関東三大弁財天に数えられる布施弁財天をお参りました。布施弁財天は珍しい多宝塔式鐘楼があり、参加者は境内の説明を読んだり、建物を見上げるなどして、じっくり境内を散策しました。それぞれグループごとの記念撮影も行いました。



公園内の小林一茶の句碑は
クイズポイントのひとつ

ボーイスカウトの皆さん、リピーターの方々 また、ラブウォークはじめての方々との出会いに感謝です。

当日の運営にご協力いただきましたあけぼの山農業公園・船橋歩こう会・葵養蜂・東京サラヤ(株)のみなさま、ありがとうございました。

当日の様子を動画としてYoutubeで公開しています。こちらぜひご覧ください。

動画はこちら↓



主催：千葉県ユニセフ協会 後援：千葉県 柏市
協力：あけぼの山パートナーズ 船橋歩こう会
協賛：生活協同組合コープみらい千葉県本部
東京サラヤ(株) 船橋歩こう会 葵養蜂

★当日の様子



スタート/ゴールでは地雷のレプリカを紹介
地雷は一度埋められると50年以上
働き続けます



布施弁財天には階段を
登っていきます



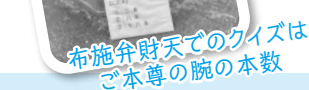
ご本尊さまは秘仏で
100年に見ることが
できるそうです



3.5km完歩ゴールでクイズの答え
あわせ、全問正解できましたか？



あけぼの山農業公園に広がる花畑、
ひまわりの花はこれからです



布施弁財天でのクイズは
ご本尊の腕の本数



ご協力いただきましたみなさま、
ありがとうございました



チーム上総



チーム下総



チーム安房



チーム武蔵



チーム信濃



チーム越後



チーム加賀



チーム伊豆

活動ファイル

(2022年7月～2022年10月10日)

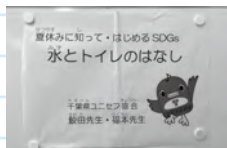
■流山市

- 10月6日(木)
千葉県立特別支援学校
流山高等学園学習会



■習志野市

- 8月9日(火)
習志野市谷津公民館学習会



谷津公民館

■八千代市

- 8月26日(金)
八千代市ウクライナ支援事業
実行委員会募金感謝状授与式
- 9月4日(日)
ガールスカウト千葉県第57団学習会



ガールスカウト千葉県第57団
学習会では切手仕分け作業を体験

■千葉市

- 7月21日(木)～31日(日)
千葉市生涯学習センターユニセフパネル展
「ウクライナの子どもの今」
- 7月23日(土)
ユニセフのつどい2022
「マシンガンズ滝沢さんと考えよう!SDGsと環境問題」
- 7月25日(月)
管理職特別研修会
- 7月30日(土)
ウクライナ緊急募金プロジェクト映画
「ひまわり」テレビ放映
- 7月31日(日)
子ども記者になって新聞をつくろう
- 8月27日(土)
ユニセフ国際理解講座
「アフリカで起きていること ムクウェゲ医師の
活動を通してー紛争鉱物・児童労働・女性への
性暴力ー」(対面・オンライン)
- 8月31日(水)
コープみらいブロック委員学習会
- 9月25日(日)
ジェフユナイテッド市原・千葉 募金活動
- 10月1日(土)
Welcome UNICEF 知ることから始めよう
「守られているの?子ども権利ー誰一人取り残さない社会へ」

■栄町

- 9月10日(土)
ウクライナ緊急支援
チャリティー
コンサート

■成田市

- 8月21日(日)
コープみらい千葉3区ブロック学習会
- 8月30日(火)、31日(水)
成田市生涯大学院学習会



コープみらい千葉3区ブロック学習会

■柏市

- 7月11日(月)
高校生のための
ボランティア体験講座

■佐倉市

- 7月22日(金)～29日(金)
イオンタウンユーカリが丘ユニセフパネル展
「アグネス大使ウクライナ訪問 忘れられた
戦争ー光の当たらない子どもたちー」



イオンタウンユーカリが丘

■東金市

- 9月11日(日)
高校生のためのボランティア体験講座



ボランティア体験講座(東金会場)



千葉市生涯学習センターアトリウム



管理職特別研修会(千葉市教育委員会)



子ども記者になって新聞をつくろう



コープみらいブロック委員学習会

守られているの?子どもの人権

～子どもの権利条約を読みながら考えてみよう～

千葉県ユニセフ協会では、「子どもの権利条約」カードブックを利用したワークショップを各地で開催しています。

7月25日(月)管理職特別研修会(千葉市教育委員会)

8月31日(水)ブロック委員向けユニセフ学習会(コープみらい)

参加した方の感想

世界には我々が当たり前で享受していることが困難な人たちがいる、ということは知っていましたが、今回はそこから一歩進んで「では日本という国で生まれた我々は何をすべきなのか?」ということを考えるきっかけになりました。私にできることを考えた時、まず初めにやるべきことは「知ってもらう事」だと思いました。

ユニセフの活動の指針となっている「子どもの権利条約」。今後も多くのみなさまと一緒に学んでいきたいと思っています。



ご協力ありがとうございました

unicef 
(敬称略・順不同)

2022年6月～2022年10月

*個人ご協力者のお名前の掲載は控えさせていただきました。

●一般募金

ジェフユナイテッド市原・千葉、ガールスカウト千葉県第20団、
(宗)中山身語正宗 関東教区青年部

●アフリカ栄養募金

千葉県ユニセフ協会アフリカの今



敬愛大学高田ゼミ様

●ウクライナ緊急募金

ボーイスカウト松戸第1団、ボーイスカウト松戸第8団、ボーイスカウト君津第2団、ギャラリー竹の子、(公財)君津市文化振興財団、千葉県ユニセフ協会ユニセフ・ラブウォークINあけぼの山、(私)敬愛大学高田ゼミ、市原市国際交流協会、千葉県ユニセフ協会ユニセフのつどい2022、八千代市ウクライナ支援事業実行委員会、習志野商工会議所、(私)昭和学院秀英中学校・高等学校ボランティア同好会、千葉県ユニセフ協会Welcome UNICEF守られているの?子どもの権利、ユニセフ・ラブウォーク IN 銚子、千葉県教職員組合、石井食品株式会社、(公社)袖ヶ浦市シルバー人材センター、(公社)香取市シルバー人材センター、(公社)野田市シルバー人材センター、(公社)千葉県シルバー人材センター連合会、(一社)南房総市シルバー人材センター、(一社)栄町シルバー人材センター、(公財)船橋市生きがい福祉事業団、(公社)我孫子市シルバー人材センター、(公社)鴨川市シルバー人材センター、(一社)東庄町シルバー人材センター、白子町シルバー人材センター、(公社)匝瑳市シルバー人材センター、(公社)銚子市シルバー人材センター、(公社)市原市シルバー人材センター、(一社)大網白里市シルバー人材センター、(公社)八街市シルバー人材センター、(公社)横芝光町シルバー人材センター、一宮町シルバー人材センター、(公社)君津市シルバー人材センター、(私)昭和学院秀英中学校・高等学校

●外貨・使用済み切手・未使用切手/はがき

千葉市国際交流協会、株式会社サイト、四日市合成株式会社、株式会社テーク・ワン、橘俳句会、矢崎エナジーシステム株式会社、田中金属株式会社、株式会社パーキンエルマージャパン、越谷くろみ幼稚園、株式会社カーレツツプラス、コープ薬円台店、国際ソロプチミスト豊中・千里、損害保険ジャパン株式会社千葉支店成田支社、株式会社ニルス、株式会社コープワーキングサポート野田メール消耗品センター、大和ハウス工業株式会社栃木二宮工場、医療法人社団甲北会甲北病院、大野医院、株式会社昇進電機、株式会社コマツ製作所関西支社、(一社)コープみらい社会活動財団、ゼブラ株式会社、日本リーテック株式会社仙台支店、浦川酒造株式会社、(公財)君津市文化振興財団、ロータスクラブ、株式会社イトウ林産、医療法人社団慈航会阿部メディカルクリニック、糸島市国際交流協会、東京新聞千葉支局、有限会社アトリエウイズ、有限会社三幸不動産、株式会社ビジュアル、波佐見町ボランティア連絡協議会、さいたま保護観察所、文教大学湘南校舎健康栄養学部事務室、株式会社ゼネック営業本部、明治安田生命保険相互会社熊本第二マーケット開発室、成田市東商工会女性部、株式会社不動テトラ中部支店、まんまる社会福祉士事務所

2022年切手仕分けボランティアの会活動について

今年はオンラインと会場で実施し、毎回50名以上の方が参加しています。また、企業(団体)で参加の方々もいます。一般の方から送られた使用済み切手をボランティアの会の方々に発送する袋(一袋に250g位の使用済み切手入り)の数も120を超えました。益々盛会となる「切手仕分けボランティアの会」。ホームページをみて日本全国から使用済み切手を送ってくださる方も増えました。来年も自宅のできるボランティア活動として、SDGs目標12「つくる責任 つかう責任」の活動の一環としてこの活動を続けていきたいと思っています。

お知らせ・今後の予定

2023年2月5日(日)

会場 千葉市生涯学習センター 地下1階 小ホール

今アフリカで起こっていること ～ムクウェゲ医師の活動を通して～

映画上映会 13:00～15:00 「女を修理する男」

講演会 15:20～16:50 「下村靖樹氏アフリカ取材報告会」

映画「女を修理する男」より



ユニセフ・ちばフレンズ(賛助会員)を募集しています

ご協力をお願いいたします。

千葉県ユニセフ協会はユニセフ・ちばフレンズ会員の皆さまのご支援により運営・活動しています。詳しくは千葉県ユニセフ協会ホームページをご覧ください。

種類	会費	口数
個人	2,000円(1口)	1口以上
企業・団体	2,000円(1口)	5口以上

日本ボーイスカウト千葉県連盟	(一社)ガールスカウト千葉県連盟
(株)京葉銀行	(株)千葉銀行
(一社)千葉県商工会議所連合会	「小さな親切」運動ちばぎん支部
(株)グリーンタワー	日本労働組合総連合会千葉県連合会
千葉県青少年団体連絡協議会	(株)マザー牧場
ジェフユナイテッド(株)	千葉テレビ放送(株)
協友工業(株)	

2022年度会員個人:83名(99口)
企業・団体13団体(255口)

ユニセフ募金のお振込みについて

下記のユニセフ募金口座は、窓口での手続きに限り振込手数料および硬貨取り扱い手数料がかかります。
振込用紙をご入用の場合は千葉県ユニセフ協会よりお送りいたしますのでご連絡ください。
口座番号:00190-5-31000(手数料免除口座) 加入者名:公益財団法人 日本ユニセフ協会
お振込みの際は、**通信欄に「K1-120千葉県ユニセフ協会」**とご記入ください。

※上記以外の口座へのお振込みの場合、硬貨取り扱い手数料・振込手数料がかかります